

一様化でも全体化でもなく、多元社会やコモンズ形成に重要な役割をはたす「インターメディエーター」。さまざまな次元で異なる領域やアクターを媒介し、対話と協働をうながすモノやヒト。「あいだ」から両側を活かし、新たな均衡、需要、未来を創り出す存在です。鳥居坂・国際文化会館にて、第5回フォーラムを開催します。

2021. 11. 7 [日]

創造とは媒介の結果——

Intermediator Forum 2021

Welcome to IMF

霧の中のイノベーション

- いまから 20 年前——2001 年 9 月 11 日の朝、ニューヨークの高層ビルに 2 機の飛行機が激突しました。世の中には、ある事情から、他者と手を取りあえない人たちがいることを、私達は知らされました。
- しかし今日ほど、地球規模での、そして地域社会での連帯が必要なときはありません。現代は、戦争、パンデミック、気候変動、世界権力の偏りなど、“危機の連鎖”に直面しています。
- また、これら 21 世紀問題群と連動しながら、ビジネスに生活に、大変動 (transformations) が起きています。だから新しい日常や新しい働き方、そしてビジネス・パラダイムの転換が、盛んに語られることとなります。
- 大きな発想転換のときです。「イノベーション」をしかける絶好の機会です。脱炭素ほか気候変動対策、地域活性化、被災地の再生、ビジネスの再創造、人生 100 年時代の生活づくりに、学び直しなど、どれをとってもイノベーションが必要であり、どれをとっても「多元的協働」が必要不可欠です。一人、一社、一国で取り組んでも、まったく不十分なのは自明です。
- そこで「人間・機械・自然の協働」を目指す「インターメディエーター (*Intermediator*)」の出番です。多様な人々からなる協働の場をつくりだし、なんとか相互の信頼を形成し、より望ましい成果をあげる役割です。ヒト同士の協働だけではありません。人間・機械・自然、これら 3 者間の多元的な協働作業を可能にする役割です。
- Intermediator* は、たがいの違いを十分に認めつつ、“多様性の中の対話”を通じてイノベーションをもたらす価値創造役です。単なる内外の調整役ではありません。また、いわゆるリーダーとも違います。リーダーはフォロワーという“指示待ち人間”を再生産しますから、これではイノベーション不発に終わります。
- 近年、イノベーションを目指して、Cluster (集積地), Eco-system (生態系), Community (共同体), Commons (共有地) をつくる動きが、各分野で加速しています。こうした動きに弾みをつけるためにも、*Intermediator* が必要です。それはいわば——イノベーションを呼ぶ霧の中の灯台です。
- 雄大なスケールの物語 (地球社会や人類の未来) と、それぞれが関心をもつ周囲 3 m の物語を結びつけながら、従来ビジネスの批判や否定ばかりでなく、新しい方向がはっきり見えてくる時間にしたいと思っています。

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.) ☞プロフィール
設楽剛事務所 代表, 慶應義塾大学 博士 [政策・メディア]

Program

2021. 11. 7

13:00 開場

13:15 オープニング

13:30 - 13:50 Vision Talk

イノベーションとインターメディエーター
| 設楽 剛

13:50 - 14:05 Group Dialogue

14:05 - 15:00 Practice 1

- | lecture 「エンパワリング：人間をつくる活動」
—現代世界の最重要課題—
- | solo work
- | group dialogue

15:10 - 16:05 Practice 2

- | lecture 「物語の深層」
—人間社会の災いの根源—
- | solo work
- | group dialogue

16:15 - 16:45 Dialogue & Polyphony

- 新しいパラダイムの基本的発想—
参加者 (会場・リモート) を交えた
全体対話とまとめ (多声的に)

あといくつ境界を越えたら、
私たちは対話と協働ができるのか。

Intermediator Forum 2021